

「簿記」学習指導案

山口県立岩国商業高等学校
教諭 松本 博己

- 1 科目 「簿記」3単位
 2 教科書 「高校簿記」 実教出版
 3 単元 全範囲
 「簿記会計の役割」
 社会で使われる簿記とは・・・ 本時
- 4 対象クラス 2年国際情報科 40名
 5 教材観 自分たちが学習した簿記が、社会ではどのように使われているか、教科書の例と比較しながら検証を行う。税理士として活躍されている講師を招き、講義を受けるのではなく、自分たちの考えを発表し、そのことについて助言を受けることにより、学習した簿記をより実務に近づけていく。
- 6 生徒観 1学年を終えて、理解度等ははっきりと差があらわれてきている。それに対応して2年次よりTTで授業を行っている。
- 7 指導観 簿記の指導において大切なことは、生徒が簿記を「わかる」から「できる」へ、そして「使える」までに到達することであると考える。どうしてこのルールがあるのか。何故この勘定科目がでてくるのか。これらのことを習得させたい。
- 8 指導目標 自分たちが学習した簿記をより実務に近づける。
- 9 評価基準

A 関心・意欲・態度	簿記に関心を持ち、自ら進んで取り組もうとする。
B 思考・判断	学習した簿記が、実務でどのように使われているか考察できる。
C 技能・表現	学習した簿記が実務において、どのような役割を果たしているか発表できる。
D 知識・理解	簿記の役割、重要性を理解する。

10 学習の展開

過程	指導内容	学習内容	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の意味・目的 	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した簿記の流れを再認識する。 簿記と税金との関係を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> 簿記の流れを発問しながら再認識させる。 簿記が納税の資料となることを認識させる。 ※評価基準A・D
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが学習した簿記が企業ではどのように使われているか。 実務で使われる簿記とはどのようなものか。 簿記の重要性とは。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが学習した簿記がどのように使われているのか考える。 税理士の受け答えにより実務で使われている簿記を具体的にイメージする。 実務で使われている簿記をイメージすることにより簿記の重要性を認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ討議を行わせ、自由に意見を出させる。 ※評価基準B グループ発表を行わせる。 ※評価基準C 生徒が発表した意見・疑問について税理士が答える。 そのつど派生した疑問についても解決していく。 実務簿記を浮き彫りにし、簿記の重要性を認識させる。 ※評価基準D
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> サマリーを行い、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がサマリー及び発表したことについて講評を行う。 今後の簿記学習に興味・関心を持たせる。 ※評価基準A